

キャトル・ステーション整備推進事業

1. 事業概要

滋賀県産の肥育素牛の安定供給のための生産構造の構築を図るため、子牛の哺育・育成を担う生産拠点施設（キャトル・ステーション）を整備する。

整備場所：畜産技術振興センター敷地内（日野町山本 695）

整備内容

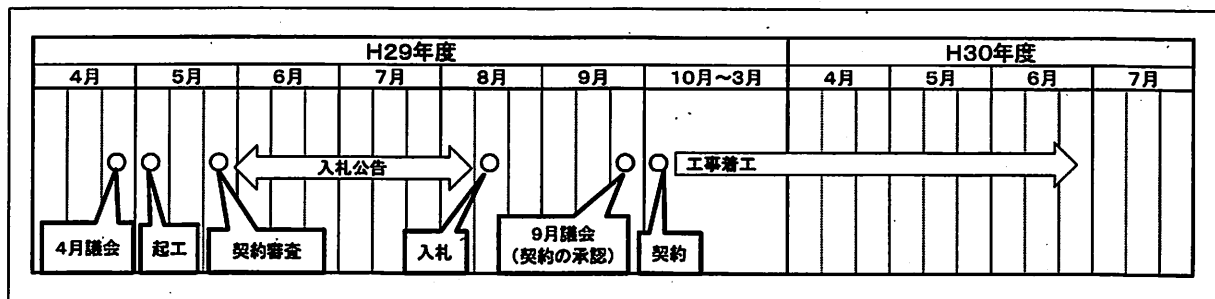
名称	用途	規模	飼育頭数
ハッチ棟	生後1～2週齢程度の子牛を一週間程度飼育	500 m ² ×1棟	30頭/棟
哺乳舎	生後2週間～90日齢までの子牛を飼育	266.5 m ² ×4棟	40頭/棟
幼齢牛舎	生後91日から150日齢までの子牛を飼育	725.4 m ² ×1棟	95頭/棟
若齢牛舎	生後151日から270日齢までの子牛を飼育	958.8 m ² ×2棟	95頭/棟
飼料庫兼管理棟	飼料の保管、管理を行う	192 m ² ×1棟	
堆肥保管庫	堆肥の保管を行う	56 m ² ×1棟	

予算

農政水産業費 畜産業費 畜産振興費（明許） 311,181千円
（債務負担） 779,619千円

2. 事業予定

下記の日程により、入札により事業者を選定のうえ、建設工事に着工し、平成30年度夏頃を目途に施設を供用開始予定。

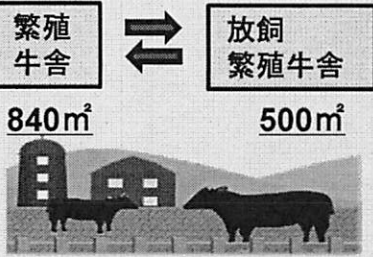


キャトル・ステーション整備推進事業の概要

畜産技術振興センター

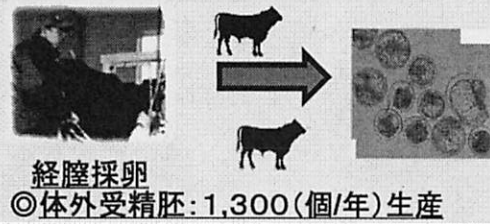


◎高能力繁殖牛群 144頭



生産

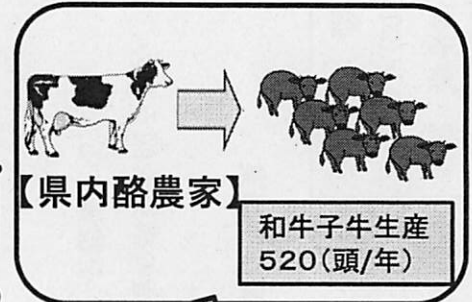
◎効率的牛胚の生産供給
【経膈採卵(OPU) & 体外受精(IVF)】



体外受精胚
1,300(個/年)

供給

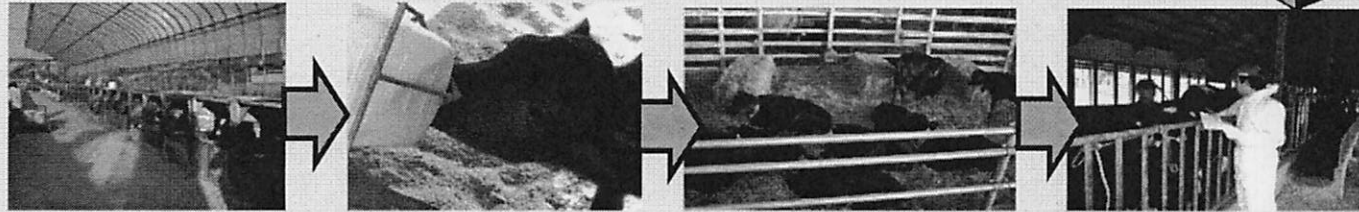
和牛胚移植(ET)



導入(生後1~2週齢程度)

自家育成子牛

◎和牛子牛の哺育・育成(キャトル・ステーション)



ハッチ棟
(1~2週齢まで)
※500㎡×1棟
(30頭/棟)

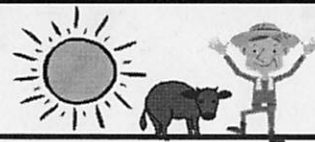
哺乳舎
(~90日齢まで)
※266.5㎡×4棟
(40頭/棟)

幼齢牛舎
(~150日齢まで)
※725.4㎡×1棟
(95頭/棟)

若齢牛舎
(~270日齢まで)
※958.8㎡×2棟
(95頭/棟)

販売譲渡

(生後270日齢前後)



近江牛生産農場

